

めいわ かわら版



もりやさちほ 守屋 幸穂

明和苑 介護職員

社 会福祉法人明和会の明和苑で働く守屋幸穂さん。2019年4月に入社以来、高齢者介護の仕事に従事しています。前職では葬祭業の会社に勤めていた守屋さんが、介護職員として働くことになったきっかけ、今の仕事に対する想いなどをお聞きしました。

前職とはだいぶ異なる職種に転職されたんですね。

子供が大学進学のためタイミングで正社員として働きたいと思っていました。明和苑に長く勤めている友人から声をかけてもらったのがきっかけです。元々、医療福祉の専門学校を出て資格を取得していたので、いつか活かせる仕事に就きたいと思っていました。

とはいえ、職場を変えるのは勇気がいります。なかなか踏み出せずにいましたが、前職で先代の社長に携わらせていただいた経験があり、理事長の明るいお人柄を知っていた

の方々に少しでも安心してもらうよう、精一杯寄り添いたいと思うのです。

今後の目標は、介護をスムーズにするためにも、まずは自分で判断して動けるようになること。どんどん経験を積み、先輩たちからもたくさん学んで、自分だけで対処できる物事を増やしていきたいと思っています。

終始明るく語る口調から、温かな人柄が伝わってきた守屋さん。入居者の皆さんや共に働く仲間に対する真っ直ぐな姿勢で、今後の明和会を牽引していくことでしょう。これからも誠心誠意、仕事に向き合いながら進んでいく守屋さんに、一層の期待が寄せられます。

なってきました。介護は、ベッドの高さや車椅子の角度など、一つひとつに注意を払わなければ、転落や滑落の危険がありますから。若い人が生活する上では考えられないような事故と、常に隣り合わせだという点は、経験から徐々に学べていると思います。

この仕事の魅力はどのようなところだと感じていますか。

一番の魅力は、「ありがとね」と感謝の言葉が直に返ってくることに



こともあって、転職への不安はなくなりました。理事長がアットホームな方なので、職場の雰囲気も良いだろうと思ったのです。想像していた通り、明和苑は笑顔に溢れて話題も尽きず、毎日楽しく過ごさせていただいています。

仕事で失敗をして落ち込むことはありませんか。

介護をしている際、異変に確信が持てず、自分で咄嗟に判断ができないときに落ち込みます。経験が浅いために対処の仕方が分からないのです。資格は持っていますが、あつてないようなもの。先輩社員からは、「二つずつトラブルを乗り越えて経験を積んでいくしかないよ。皆そうだった」とアドバイスをいただいています。何でも教えていただければ風土があるのは、働いていく上でとてもありがたいですね。

助けてくださる先輩たちのおかげで、少しずつ気をつけなければならぬポイントは分かるように

最後に、仕事をしていく上で大切にしていることと今後の目標についてお聞かせください。

大切にしているのは、相手の気持ちを想像して接することです。たとえ喋れない方でも、着替えのお手伝いをする際には、「ここまで引っぱったら痛いかな？」と常に確認するようにしています。一人ひとりをサポートできる時間は限られていますが、私に経験がない分、入居者

拠点 紹介

明和第二保育園

明和会に属する様々な拠点を紹介するこのコーナー。

今回は抜群のチームワークを誇る明和第二保育園について、園長の加藤さんにお話しいただきました！

明和第二保育園
園長

かとう ちあき
加藤 千晶さん



主な業務とメンバー構成について

栄養士や調理師などを含め、職員20名で90名の園児の保育をしています。特徴的なのは看護師が在籍しているところであり、その他職員は全員が保育士資格を有しております。全職員ですべての子どもたちの健やかな成長を願い、保育にあたっています。

自慢できるところ

職員、園児ともに、保育目標の一つに掲げている「3つの心」に基づいた行動ができています。3つの心とは「優しい心、強い心、感謝の心」です。明和会の「心を大切に」という理念を元にしており、子どもたちにも丁寧にわかりやすく説明しています。園児同士で「〇〇ちゃんは優しい心を持っているね。ありがとうの気持ち大事だね」という会話も聞かれるようになりました。運動会の練習でも、諦めずに強い心を持って挑戦することで、できることが増えていく子どもたちを見ると、皆3つの心が育まれてきていることを実感します。

独自の取り組み

開園2年目から鼓隊をやっています。年長児が一所懸命に練習する姿は、年下の子どもたちにとって憧れのようで、代々受け継がれている取り組みです。個々のリズム感だけでなく、皆で心を合わせて演奏することで協調性も養われます。



コロナ禍でのエピソード

昨年末からの新型コロナウイルスの影響で、本園も登園自粛を余儀なくされました。しかし、卒園式だけは何とか実施してあげたい……。その思いで、職員全員でアイデアを出し合い、登園自粛開始の前日、対応に追われる職員がいる中、できる限りの職員で急遽卒園式を行ないました。保護者の方々にはDVDで子どもたちの園での成長の様子を見ていただき、感謝の言葉をいただくことができました。全ては職員たちが積極的に意見を出し合い、協力してくれたおかげです。

園長としての仕事のやりがい

子どもたちの笑顔を守る職員たち、その笑顔を大切に守ることが私の使命であり、やりがいです。職員が生き活きと働くことができれば、子どもたちも楽しく過ごすことができます。子どもが笑顔で楽しく過ごすことができれば、保護者にとっても安心です。本園の職員は皆気さくで、風通しもよく、抜群のチームワークで仕事をしています。これからも子どもの最善の利益は何か、と問うことを忘れず進めていきたいと思っています。

今後の目標

0歳から5歳の間の生活は、この先長い人生の土台になります。だからこそ、日々の笑顔や幸せを丁寧に大切に育てていくことが、最重要です。「頑張る」ことは大切ですが「顔晴る」という気持ちで、皆が幸せになれる園づくりに尽力していきます。

趣味:ソフトボール(クラブチームに所属し、週2回行なっています)

休日の過ごし方:ソフトボールや友人とお出かけ

入社きっかけ、志望動機

明和会の卒園生として馴染みもあり、実習に来たことがありました。そのとき、困っている子どもの話を最後まで聞き、寄り添う先輩方の様子を見て一緒に働きたいと思い、入社を決めました。

現在の仕事内容

現在は2才児を担当しております。戸外で身体を動かしたり室内では製作をしたりと年齢に合わせた活動を考え保育をしています。

工夫していること

身体を動かさず遊びなど、難しいルールに縛られると子どもたちは動きにくいことでしょう。そのため、のびのびと動けるようあまりルールを作らず、音楽を使って楽しめるよう工夫しています。また、実習のときは4才児を担当し、2才児よりもルールを決め、身体の成長に合わせて遊ぶなど工夫しました。

今後の目標

年齢に合った対応をしていくことです。そのため、これまでの経験やこれから学ぶことを取り入れ、それぞれの子どものために合った対応をしていきたいと思っています。



やまくち みゆき
山口 深友紀さん

スタッフ紹介

今回は、明和第二保育園で働く山口さんと那須さんをご紹介します！
入社きっかけや、今後の目標などをお伺いしました。



なす けんたろう
那須 健太郎さん

休日の過ごし方

自分の子どもに色々な体験をさせています。最近は畑と一緒に野菜を育てています。鍬で土を掘ってみたり、苗を植えてみたり、水やりをしたり……。収穫するまでは楽しくやっているのですが、収穫した野菜をなかなか食べてくれないことが最近の悩みです(笑)

入社きっかけ、志望動機

3人の弟の面倒を見るのが好きだったこと、小さい子と関わることに楽しさを感じていたことが保育士を目指したきっかけです。また、親が保育士をやっていたこともあり、後押しされる形で保育士になりました。また、卒園生と関わりたいという理由から市内での就職を選びました。散歩のときなどに成長した卒園生と会えるのがとても楽しみです。

現在の仕事内容

子どもをしっかり預かって家庭に帰すこと、そして社会性を身に付けられるよう子どもたちに様々なことを教えたり、体験させたりすることが保育士としての主な業務です。現在は4才児のクラスを担当しています。

工夫していること

唯一の男性保育士なので、家庭というお父さんのような役割を目指しています。良いことをしたらたくさん褒めますが、悪いことをしたらびしょと厳しく叱るときもあります。要点を絞って、めりはりを付けた指導をしています。

今後の目標

働き始めて8年が経ち、保育士としての業務にも慣れてきた中で、他の人がやっていないことに挑戦したいと考えています。家庭菜園のようなことをやってみたくて画策中です。給食で出たスイカの種を蒔いたら芽が出た、とか楽しそうだと思いませんか？